

## しのばず自然観察会より 2020-03 2020.04.02

★新型コロナウイルス感染防止のため、予定されていた3月の旧小野路城址周辺と4月の赤塚公園での活動は中止（延期）にしました。ともに野外活動再開が可能となった時点で再度企画したいと思いますが、赤塚公園ではヤマブキソウなどを見るため、2021年4月になる見込みです。東京オリ・パラ2020みたいな表現ですみません。

★4月の活動の可否については当初はがきでお知らせする予定でしたが、本通信にて中止（延期）を連絡する次第です。

☆5月以降の活動については、適宜状況判断してお知らせします。なお、本通信およびホームページでは、野外活動中止の間、上野公園・不忍池の様子などをお知らせします。

### 2020年2月の活動より 新宿御苑の自然観察

2月16日、昼前後に雨脚が強くなりそのあとやむという天気予報だったが、朝はまだ曇り。出かけるころに霧雨模様、新宿御苑の千駄ヶ谷門に着くと、本降りの雨になってしまいました、集合係だけならこのまま帰ろうかと思っていると、会員が現れ、計4名で園内へ。前日までの暖冬とは打って変わって息が白く見える寒さ。「温室で暖まってから、雨がやんだらオシドリがいるか見に行ってみようか」という声もあったのですが、こんな雨の時は人影が少ないから見やすいかも」という声に押されて一同オシドリがかつて見られた池にかかる橋のたもとを目指して移動。途中、台湾式の歴史建造物「旧御涼亭」の手すりから見る下の水面をカワセミの青い羽色が走り、先の石の上に止まっていたのですが、カメラを構えるとすぐに飛び去ってしまいました。

橋に着いて目を凝らすと対岸の水際に鳥の姿が。双眼鏡で見るといた！いた！ざっと数えてオシドリが30羽。こんなに多くのオシドリは初めて見たという人も。残念ながら雨の中で、もやっていて写真写りはよくありません。鳥たちは思い思いに羽繕いしたり水浴びをしたりで、水しぶきがあちらこちらであがります。中に1羽のカイツブリも。しばらくして雨が小降りになったころ、半分くらいのオシドリが岸の木の上に移動。雨だから多くのオシドリが水面に出てきたという見解が正解のようでした。



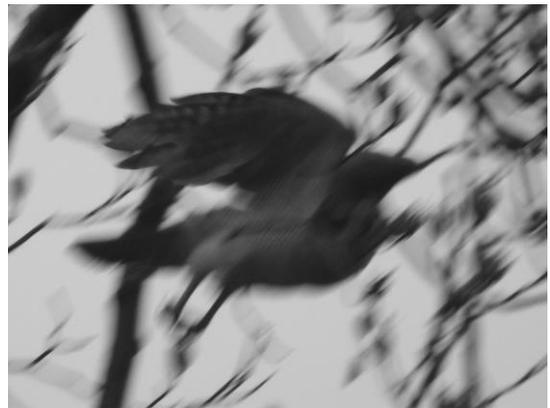
←新宿御苑のオシドリ

グレー系薄茶色の方がメス。オスは赤系の色があでやかで、銀杏羽（イチョウバ）が特徴。

東屋で昼食を済ませ、今度こそ温室を目指そうということになったら、目の前のひと群れのササの中からウグイスの地鳴き、ちらっと姿も。その先の芝地に小鳥の群れ。望遠レンズで見るとカワラヒワらしい。遠くの木のとっぺん近くにシメらしい鳥。

次いでカラスに追われるタカが1羽。タカはカラスより明らかに小さいのでハイタカか？やがて遠くの大木にとまった胸のあたりに白い丸のような部分が見えました。その後、カラスにまた追われて視界から消えてしまいました。

温室前で、前のタカより近い距離の樹上にカラスとタカを発見。双眼鏡で見るとカラスと同じくらいの大きさで、濃い灰色の体色と顔の模様からオオタカらしい。カメラを構えたとたん、タカが飛び、カラスも飛び去ってしまい、カメラには白い眉の線がある顔と黒い影だけが残った次第。



残念ながら、オオタカは飛び去ってしまいました

雨天中止予定のため参加を見合わせた人も多かったようでしたが、街なかの公園では台風などの場合を除いて、晴天の時には見られない自然の姿を垣間見ることができることを体験した一日でした。

## JR 上野駅公園口改札移動と前の道路のロータリー化スタート

樹木伐採や歩行者の動線・交通事情改変で問題もあった JR 上野駅公園口と周辺の工事がとりあえず完成し、3月20日から供用を開始しました。結果的に樹木のほとんどが残り、当初の伐採計画がいかにならずさんだったかがわかります。上野広小路から上がってくる南側道路は、東京文化会館前でヘアピンカーブして戻る構造ですが、縁石等はまだまだなく、柵で車道を区切っているのも、まだまだ工事があるかもしれません。北側の両大師に通じる道は縁石が敷かれ、台東区のコミュニティバスが3月末に再乗り入れに。

**しのばず自然観察会** 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方

1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: <http://sinobazu.extrem.ne.jp>

郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

※2019年以前の会費未納の方もお忘れなく！ 退会の場合は早めに葉書で事務局へ。 ※